

Kamikawa

がふれあう住民自治のまち



No.80

4/12
2024

- 議会だより かみかわ -



寺前小学校
入学式
(4月9日)

令和6年度予算・・・・・・・・・・ 2～5 議会の活動・・・・・・・・・・ 13
予算・議案審議の様子・・ 6～9 いっぱん質問 5人が登壇・・ 14～19
委員会の活動・・・・・・・・ 10～12



神河町議会の
情報はこちら

3
月
定例会

令和6年度一般会計予算

94億1400万円 (前年度比3.6%増)

～ 学校に通う子どもたちを手厚く支援 ～



公園・図書コミュニティ施設の工事状況 (令和6年4月5日時点)

第117回定例会は、2月29日から3月22日までの23日間の会期で開催されました。町からは報告1件、専決処分1件、人事案件14件、条例改正15件、規約等一部変更1件、財産取得1件、補正予算7件、当初予算13件、承認2件、議会から発委2件の計57件が提案され、審議の結果、全議案を原案のとおり同意、可決しました。主な審議内容は8ページに、5人の議員による一般質問は15～19ページに掲載しています。

令和6年度は、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者、子育て世帯などを支援するため、国の重点支援地方交付金等を活用し、様々な事業(4、5ページに記載)が実施されます。

令和6年度一般会計予算には、1人の議員が反対討論を行いました。反対討論の要旨は、3ページに記載しています。

公園・図書コミュニティ施設
総額10億6100万円

長い間更地であった粟賀小学校跡地に、公園・図書コミュニティ施設を整備するため、令和3年度

から設計業務に着手し、令和5年度に整備工事の入札を執行しました。

しかし、近年の物価高騰の影響で、入札は2回不落(予定価格を超えてしまい、落札業者が決まらないこと)となり、令和5年9月に随意契約し、工事に着手できました。

令和7年3月下旬に本体工事の完成予定、同年7月頃にオープン予定で、総事業費10億6100万円の見込みで整備事業を進めています。

当初見込んでいた事業費よりもかなり高くなっており、事業費には過疎債8億1850万円を充てる予定です。

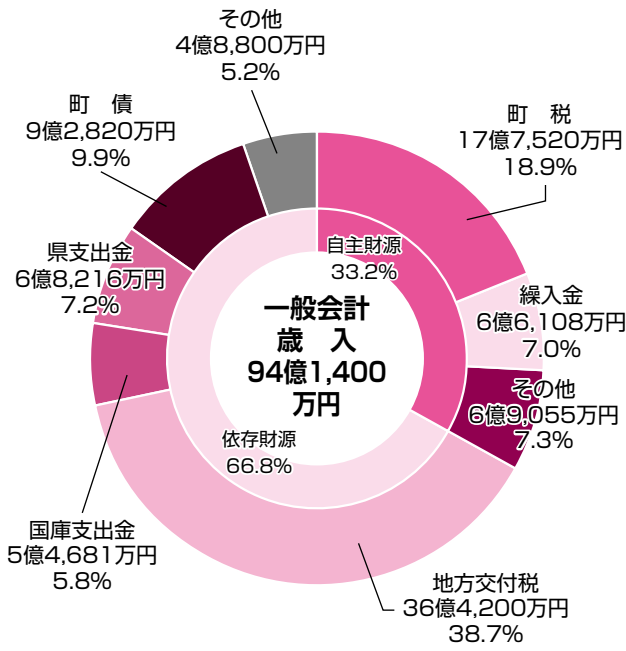
議長から
ひとこと

3月定例会では、給食費の1年間半額補助や子育て世帯に町内産新米支給などの子育て支援策、中播消防署北部出張所建替え用地取得などを盛り込んだ予算を可決しました。

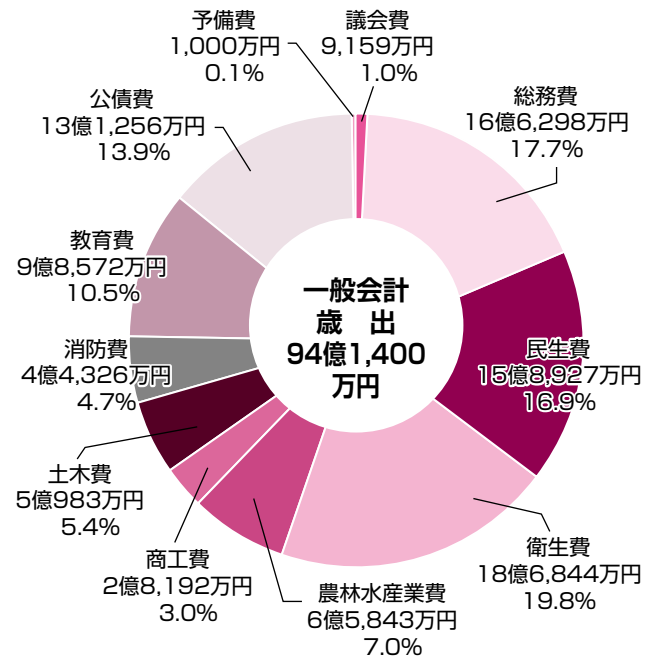
議員からは誰も取り残すことなく、町民の皆様が安全・安心に暮らせる町であり続けるための意見が出されました。

さて、神河町議会では、令和5年度より大学との連携や意見交換会の積極的な開催など様々な議会改革に取り組んでいます。新年度を迎え、さらに加速して取り組んでいきますので、引き続き神河町議会にご理解・ご協力をお願いします。

入るお金



出るお金



令和6年度 会計別当初予算額の状況

(単位：千円)

会計区分	総額	
一般会計	9,414,000	
特別会計	ケアステーション事業	87,848
	国民健康保険事業	1,326,289
	後期高齢者医療事業	217,471
	介護保険事業	1,605,768
	土地開発事業	87,747
	訪問看護事業	148,618
	産業廃棄物処理事業	52,622
	寺前地区振興基金	2,956
	長谷地区振興基金	3,358
企業会計	水道事業(3条支出予定額)	411,523
	下水道事業(3条支出予定額)	637,897
	公立神崎総合病院事業(3条支出予定額)	3,675,962
合計	17,672,059	

企業会計の3条支出予定額とは収益的収支予算(経営本体の事業予算)の支出予定額のことを指す。

町税の状況

(単位：千円)

項目	令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	増減額
町民税	435,428	480,083	△ 44,655
固定資産税	1,237,591	1,256,884	△ 19,293
軽自動車税	47,399	47,555	△ 156
町たばこ税	54,429	53,018	1,411
鉱産税	348	465	△ 117
町税総額	1,775,195	1,838,005	△ 62,810

貯金と借金の状況(一般会計)

神河町人口 (令和6年3月31日現在)	町債残高 (借金)	財政調整基金 残高(貯金)
10,290人	117億4,058万円	17億1,076万円
町民1人あたり	114万969円	16万6,254円

企業誘致のサテライトオフィスは、業務委託でなく、今こそ若い職員の能力を発揮するときではないか。作業過程の中で、の苦しみを通して、今後の行政がどうあるべきかの向上に繋がる。知恵を出し！行動し！いかに汗をかくかである。

若者・子育て支援と魅力ある事業をしても周知できていないのが現状である。関係者へ自宅訪問等をして行政サービスをするべきである。

子育て支援の新たな対策である中学生の通学用自転車購入費補助、小学生の入学祝い金はよいが、小中学生1人30kgの玄米配布は、3年間である。幼小中学校等の給食費半額補助は、令和6年度限りである。補助金があるまではやるでは、あとの政策が問われる。

補助金をどう活かすのか！

反対討論

藤森正晴

令和6年度一般会計予算

令和6年度はこれを！ 新年度の主な事業

国の「重点支援地方交付金」などを活用し、
“地方創生の流れに乗り
一歩踏み込んだ改革で”



学校給食費の半額補助

保護者の経済的な負担軽減を図るため、学校給食費の半額を補助します。
(令和6年度のみ)

総事業費 1,648 万円

子育て家庭に 町内産新米を配布

子育て家庭の食費軽減、町内産米の消費拡大を図るため、小・中学生がいる家庭に子ども1人あたり30kgの新米を配布します。(3年間)

総事業費 473 万円

小・中学校入学時に 3万円を支給

小・中学校への入学のお祝いと保護者の経済的な負担軽減を図るため、小・中学校入学時に児童・生徒1人につき3万円を支給します。

総事業費 465 万円

縁結び事業の実施

デイキャンプ恋活や異業種交流イベントの開催、マッチングアプリの利用料補助など、出会いの機会の創出を促進します。

総事業費 141 万円



結婚新生活に係る費用を補助

家賃や敷金、礼金、引越し費用のほかリフォーム費用など結婚新生活に係る費用を最大60万円補助します。

総事業費 150万円

結婚記念祝い前撮り撮影を提供

町主催のイベントや「Link!かみかわ」を通して結婚される新婚世帯に、砥峰高原での前撮り撮影を提供します。

総事業費 49万円

妊婦の通院費用を助成


町内に住民登録がある妊婦に対し、妊婦健康診査や出産にかかる通院1回につき、1000円を助成します。
※上限15回(多胎は上限20回)

総事業費 60万円

高齢者及び障害者施設の運営を支援

物価高騰が施設運営に影響を与えているため、安定的な施設運営ができるように支援します。

総事業費 1,085万円



不登校やひきこもりの方、またその家族の方をサポート

社会参加や就労等自立支援を促すため、居場所づくりや個別相談、ひきこもり交流会などを開催します。

総事業費 139万円

住民全体の福祉向上を念頭に、10人の議員が審査!

予算特別委員会

(3月11日、12日開催)

議長を除く10人の議員で構成した予算特別委員会を開催し、付託された令和6年度各会計予算について、慎重に審議しました。委員会での主な質疑は次のとおりです。

一般会計

歳入

Q 森林環境譲与税6250万円の充当先は、

A 森林所有者への意向調査や条件不利地での間伐作業に重点的に充当している。また、森林管理100%作戦推進事業の植栽部分にも充当している。

Q グリーンエコリーディングの償還補填は、あと何年か。

A 令和8年度で償還が完了する予定である。

歳出

総務費

Q 庁舎等施設改善工事の請負費2345万円の内容は、

A 大河内保健福祉センター前のちびっこ広場のリニューアル工事や公用車のEV化充電設備工事、本庁舎屋外時計修繕である。



リニューアル前のちびっこ広場

Q 栗賀小学校校跡地整備で、遊具などの本体工事以外の工事は、追加変更ではなく新たに入札を行うのか。

A 基本的には別工事で発注する。

Q 公園・図書コミュニティ施設に公衆無線LAN、WiFi環境を整備する予定はあるか。

A 現在は、施設内でのWiFi環境整備を検討している。

民生費

Q 結婚新生活支援事業と若者世帯向け家賃補助事業で、賃貸の家賃は重複して受給できるか。

A 重複で受給はできない。結婚新生活支援事業で支援を受けていた後、若者世帯向け家賃補助事業で補助する。



Q 現在の災害時要支援者の登録人数は、

A 現在は、251人である。

Q 衛生費 病院への補助金や出資金は、どのように支払われているのか。

A 令和4、5年度は、3回に分けて支払っている。金額、時期は固定せず、一般会計の資金繰りに合わせて支出している。

農林水産業費

Q 神河町の農業は、どういう方向性で進めていくのか。

A 確実に農地を維持し、農業をしていく中で、新しい取組を考えていく必要があると考える。

商工費

Q スキー場の人工降雪機の修繕は、露天に置きっぱなしにしていることが修繕の原因か。

A 人工降雪機の修繕ではなく、高圧ポンプや人工降雪機全体に係る修繕である。



屋外で保管されている人工降雪機



中播消防署北部出張所建替え用地
((一社)かみかわ移住定住サポートセンター東側 柏尾地内)

土木費

Q 特定空き家等緊急措置修繕料20万円の内容は。

A 危険な空き家にブルーシートをかけるなど緊急的な対応措置を行う。その費用は、空き家所有者に負担していただくことになる。

消防費

Q 中播消防署北部出張所建設用地の購入は、税務課と調整しながら進めているのか。

A 税務課と協議している。不動産鑑定士に鑑定を委託し、土地等の価格を算出している。

教育費

Q 学校給食費が令和6年度のみ園児・児童・生徒は半額になる予定だが、教職員や給食センター職員はどうなるのか。

A 園児・児童・生徒は半額で、教職員や給食センター職員は従来どおり改定額を全額徴収する。

特別会計

ケアステーション事業

Q 手話委託料で、年間の手話通訳者の派遣回数は。

A 研修会での手話通訳1回を予定している。

国民健康保険事業

Q 財政調整基金繰入金は、県下統一の国民健康保険税率に向けた税率アップを少しでも緩やかにするために計上しているのか。

A 急激な被保険者の負担増にならないよう基金を使う。最終的には県下統一の保険税率にする。

土地開発事業

Q 長谷のカクレ畑の販売が進まない。令和6年度の取組はどのようになっているか。

A 令和6年度は、これまで以上に事業者と一緒に活用について検討したい。

企業会計

水道事業

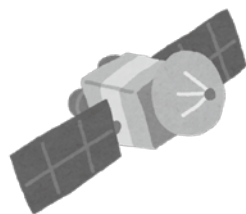
Q 今後の町水道の運営をどう考えるのか。

A 令和5年度に財政シミュレーションの見直しを行い、令和10年度までは黒字決算の見通しとなっている。令和6年度は、県全体で人工衛星を使用した漏水調査に取り組み、町内の漏水箇所把握に努めたい。

公立神崎総合病院事業

Q 大きな赤字を出して経営していくことは大変なことである。町長の考えは。

A 繰出基準に基づいた運営ができるよう、病院経営改善計画を中心に、職員が一丸となってひとつの方向に向かって進めていきたい



条例の一部改正

〔手数料条例〕

条例改正により、戸籍謄本や除籍謄本が本籍地以外の市町村窓口でも交付可能になりました。

また、他の行政機関への手続き時に添付する戸籍謄本等に代わる戸籍及び除籍の電子証明書提供用識別符号の発行が可能になりました。

〔国民健康保険税条例〕

令和12年度に県下統一の保険料水準になることから、段階的に国民健康保険税率を引き上げていくための条例改正です。

〔介護保険条例〕

介護保険料の改正で、所得区分を現行の10段階から国の基準に合わせた13段階へと多段階化するための条例改正です。

現行の月額基準額5900円から6200円に引き上げられます。

財産取得

〔姫路市中播消防署北部出張所建替え用地等〕

建替え用地と多目的施設として、(一社)かみかわ移住定住サポートセンターの土地及び建物を取得するものです。

補正予算

〔令和5年度一般会計(第8号・第9号・第10号)〕

補正により、歳入歳出予算の総額は94億6806万4000円となります。

補正の主な内容

- 〔第8号〕 能登半島地震の支援要請事業費の増額
- 〔第9号〕 事業費確定見込みによる減額等

〔第10号〕

低所得者の子育て世帯、住民税均等割のみ課税世帯への給付金の増額

承認

〔第2次長期総合計画後期基本計画〕

平成30年度に策定した第2次長期総合計画の前期計画の期間終了に伴い、令和10年度までのまちづくりの指針となる後期基本計画を策定するものです。

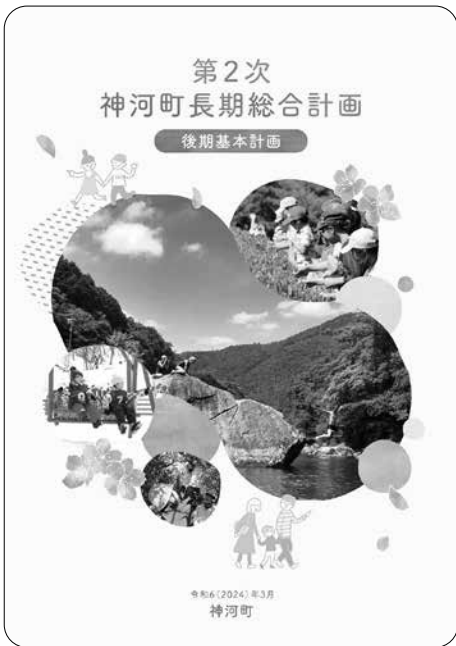
2050神河将来ビジョンを踏まえた長期的な展望に立ち、「ハートがふれあつ住民自治のまち」大好き！私たちの町がみかわ」を実現させるための行政運営の最上位計画です。

〔公立神崎総合病院経営強化プラン〕

持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドラインとして策定するものです。

次の6つの取組をもとに、持続可能な病院経営を目指していきます。

- ① 役割・機能の最適化と連携の強化
- ② 医師・看護師等の確保と働き方改革
- ③ 経営形態の見直し
- ④ 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組
- ⑤ 施設・設備の最適化
- ⑥ 経営の効率化等



議会からの提出議案

〔議会議員の請負の状況の公表に関する条例〕

地方自治法の町議会議員と町との請負禁止規定が令和4年12月に改正され、議員個人による神河町との請負(年間300万円以内)が可能となりました。これに伴い、議員個人による請負状況の透明性を確保するための条例制定です。

〔特定商取引法平成28年改正における5年後見直し規定に基づく同法の抜本的改正を求める意見書〕

高齢者への悪質商法やインターネット通販に関するトラブル、マルチ取引等特定商取引法に関わる被害の増加が予想されます。これらの消費者被害に対処するために、特定商取引法の改正を行うよう強く求めるための意見書を国へ提出するものです。

議案等の審議結果

◆全員賛成で同意・可決した議案等◆

報告番号	件 名
第1号	令和5年度兵庫県町土地開発公社の事業報告の件

議案番号	件 名
第1号	専決処分をしたものにつき承認を求める件（令和5年度神河町一般会計補正予算（第8号））
第2～15号	神河町農業委員会委員の任命の件
第16号	神河町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の全部を改正する条例制定の件
第17号	神河町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の全部を改正する条例制定の件
第18号	神河町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の全部を改正する条例制定の件
第19号	神河町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の全部を改正する条例制定の件
第20号	神河町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第21号	神河町手数料条例の一部を改正する条例制定の件
第22号	神河町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第23号	神河町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件
第24号	神河町介護保険条例の一部を改正する条例制定の件
第25号	神河町し尿くみ取り手数料の徴収に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第26号	神河町地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第27号	神河町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定の件
第28号	神河町体育施設設置条例の一部を改正する条例制定の件
第29号	神河町水道給水条例の一部を改正する条例制定の件
第30号	兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の一部変更について
第31号	姫路市中播消防署北部出張所建替え用地等の取得の件
第32号	令和5年度神河町一般会計補正予算（第9号）
第33号	令和5年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
第34号	令和5年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第4号）
第35号	令和5年度神河町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
第36号	令和5年度神河町寺前地区振興基金特別会計補正予算（第1号）
第37号	令和5年度公立神崎総合病院事業会計補正予算（第4号）
第39号	令和6年度神河町ケアステーション事業特別会計予算
第40号	令和6年度神河町国民健康保険事業特別会計予算
第41号	令和6年度神河町後期高齢者医療事業特別会計予算
第42号	令和6年度神河町介護保険事業特別会計予算
第43号	令和6年度神河町土地開発事業特別会計予算
第44号	令和6年度神河町訪問看護事業特別会計予算
第45号	令和6年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計予算
第46号	令和6年度神河町寺前地区振興基金特別会計予算
第47号	令和6年度神河町長谷地区振興基金特別会計予算
第48号	令和6年度神河町水道事業会計予算
第49号	令和6年度神河町下水道事業会計予算
第50号	令和6年度公立神崎総合病院事業会計予算
第51号	神河町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第52号	令和5年度神河町一般会計補正予算（第10号）

承認番号	件 名
第1号	第2次神河町長期総合計画後期基本計画の策定の件
第2号	公立神崎総合病院経営強化プランの策定の件

発委番号	件 名
第1号	神河町議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定の件
第2号	「特定商取引法平成28年改正における5年後見直し規定に基づく同法の抜本的改正」を求める意見書について

◆賛否の分かれた議案等◆

議案番号	件 名	賛 成	反 対	議 決 結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
					小 島	木 村	澤 田	廣 納	安 部	吉 岡	松 岡	藤 森	藤 原	欠 番	栗 原	小 寺	
第38号	令和6年度神河町一般会計予算	9	1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	-

○は賛成、×は反対です。12番の小寺議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。
 ・10番は欠番となっています。

総務文教常任委員会

2月15日開催

教育課

Q 教職員の資質・能力の向上への課題は。

A 教職員配置は神崎郡3町全体で行っている。神河町は各学校の組織力を高める人事配置を行いたいと思っている。

学校現場では、保護者の対応や発達障害、不登校など様々な課題を抱える子どもへの対応が増えている。必要なことを研修などで学び実践している。教育センター(適応教室)の指導員もしっかりと対応している。

Q GIGAスクールをどのように活用するか目標を明確にし、取組を推進してほしい。現在、タブレットの家庭への持ち帰りが少ない。常に持ち帰り本来の目的で活用すべきである。

A 学校への専門員派遣を含め、活用に向け、協議・検討を重ねる。

Q 学校給食で金属片の異物混入があった。再発防止策は。

A 約7年間使っていた金網の一部が破損し、副食の野菜サラダに混入してしまった。目視を徹底するとともに、各器具の使用期限を定め更新することに改めた。



総務課

Q 町職員への人事評価制度の導入が進んでいない。課題は何か。

A 職員組合と意見交換を行ったが、進捗はない。2月に人事評価の研修を行った後に、改めて協議する。各評価者による評価の視点を一定にすることや、処遇への反映の在り方が課題である。

●廃校跡地活用事業について、旧地域交流センターを活用しているゲートウェイアジア合同会社が遅れていた地元への報告会を2月20日に開催されました。外国人技能実習生の講習事業を当初計画どおり実施できなくなったので、撤退する旨の意向が示されました。3月31日付で賃貸借契約が解除されます。

Q 上小田小学校跡地活用の「碧河舎」も当初計画と違い、年間に2週間程度の活動しかされていない。一定の状態に陥った事業者との契約は打ち切るといふ、町の明確な指針を決めるべきだ。

A 当初の思いも含め、事業者と協議する。
* 税務課・会計課の事務事業は、順調に進捗しています。

現地調査 (教育委員会所管) 3月7日実施



休園となっていた長谷幼稚園が長谷小学校校舎の一室を改修し、4月から再開されます。明るく整備された様子を確認しました。5人の入園児が仲良く遊び、成長されることを期待します。



堂屋敷廃寺発掘調査の現場(福本地内)で教育課学芸員から今年度の調査成果の説明を受けました。福本遺跡で生産された瓦や塔の可能性のある建物の基壇が新たに発見されました。



常任委員会は、3か月ごとに各課事業の進捗状況と重要事業の調査をしています。

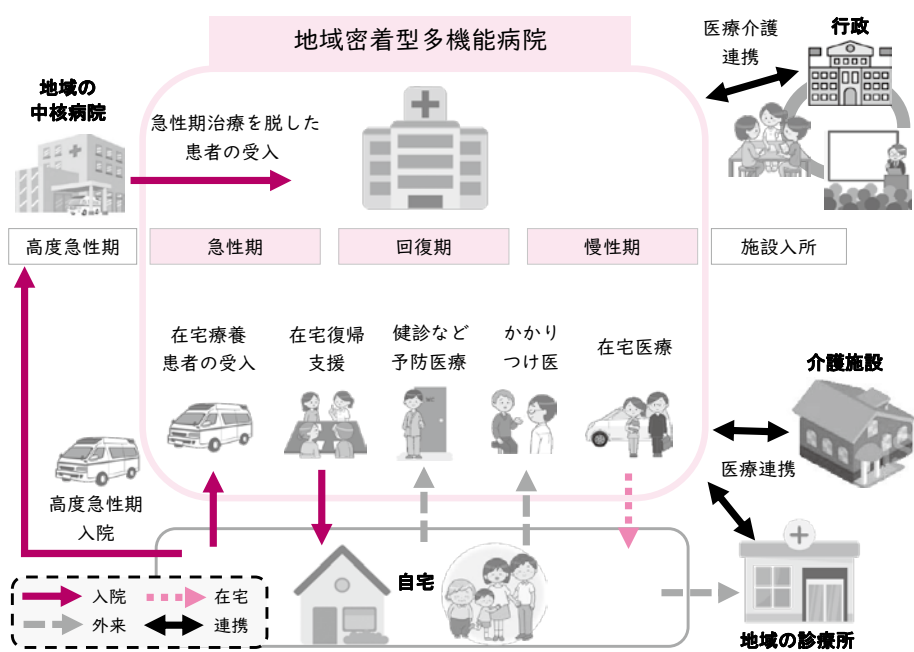
民生福祉常任委員会

1月16日開催

公立神崎総合病院

「公立神崎総合病院経営強化プラン」の説明がありました。

当プランに基づき、経営改善を実施し、経営基盤強化につなげることが求められます。
(プランの詳細は8ページに記載)



病院が目指す地域密着型多機能病院のイメージ図

2月9日開催

公立神崎総合病院

Q 病院改革委員より、今後、当院は何を提供していくのかと意見が出ているが、どう考えているか。
A 住民に寄り添った医療や、もっと。パフォーマンスを上げる働き方改革が必要である。

Q 公立神崎総合病院が地域医療、訪問医療も進めていきたいとのことだが、何が解決すれば実現できるのか。
A 24時間体制の訪問看護の状況を早期に医師に伝え、医師のみでなく他の医療スタッフも関わる在宅医療体制づくりが必要である。

健康福祉課

Q 訪問入浴介護サービスは必要であり、手だてを検討したいとのことだったが、その後の進展は。
A 当町の社会福祉協議会では、看護師不足で再開は進んでいない。現在、当サービスは市川町社会福祉協議会にお願いしている。レスパイト入院患者は病院で入浴されている。

住民生活課

能登半島地震被災者への住宅支援として、新野駅前団地・中村団地で、現在空室の中から各2戸が提供されます。

クールチョイス推進事業

Q 寺前と長谷に配置しているEVシェアカーは、費用対効果が低いことから、次年度以降は配置しないとのことだが。
A 非常に利用頻度が低いので、令和6年度はカーシェアリング事業の予算は計上しない。二次交通も含めてどんな形でのカーシェアリングがいいのか検討する。



A 病院食や看護師の態度等は運営に関わる事であり、もっと重視する意識づけが必要である。

上下水道課

上下水道課の事務事業は順調に進捗しています。



長谷ふれあいマーケットに設置のEVシェアカー

産業建設常任委員会

2月6日開催



施工後



施工前

越知川の除草、河床整正の前後

建設課

貝野地内、越知川の河川敷内の伐木、除草、河床整正を進めています。犬見川の伐木、除草は令和5年度中に、河床整正は令和6年度に実施予定で調整しています。

Q 貝野地内、越知川の河川浚渫工事で、河川内の土砂は外へ持ち出せないのか。

A 県管理河川では、砂利組合との絡みがあり、土砂を外へ持ち出せない。そのため、河川内で敷均しをする。

地籍課

地籍調査事業は、順調に進捗しています。

農林政策課

Q 道の駅「銀の馬車道・神河」で銀の馬車道の遺構やモニユメントの場所の明示、周辺順路の整備等が必要であるが、何か対策はあるか。

A モニユメントへは、大変遠回りをする導線となっている。順路を明示することで、一番近道となる民家の敷地内を無断で通り、トラブールにならないかと心配もある。ひと・まち・みらい課とも相談しながら検討する。

ひと・まち・みらい課

指定管理施設関係
(ホテルモンテ・ローザ)

Q 指定管理者の(株)倉暮しが、吸収合併とのことだが、状況は。

A (株)倉暮しが、合理化や効率化、持続化を優先していきたいとの思いで、今模索中である。

(グリーンエコー笠形)

Q 2月4日から23日までの20日間、グリーンエコー笠形が臨時休業とのことだが、理由は。

A 2月3日付の料理長の退職に伴い、レス・トランメニューの再構築のため、臨時休業の申し入れがあった。

Q 令和5年度決算見込みは赤字であるが、前年度に続き、施設利用料355万円の減免の申し出があるのではないか。このまま損失を許すのか。行政も指定管理者も、真剣に考えるべきではないか。

A 指定管理者には、再度、町の考え方や運営方針をしっかりと伝えて、対等の立場で協議し運営に当たりたい。

アグリイノベーション推進事業

Q アグリイノベーション神河(株)への支援はいつまで行うのか。

A 作畑区のイチゴハウスの耐用年数が終わるまで、令和7年がひとつの目安になる。事業を撤退するかしないかは、事業者の判断に任せざるを得ない。

意見交換会を開催!

1月30日に神河町商工会「次世代プラン創造委員会」と意見交換会を開催しました。主な意見は次のとおりです。いただいた意見、提案を参考にし、町への働きかけ、議会改革を進めていきます。

結婚のための出会いの場、機会をつくってほしい。

結婚、出産時の補助金などについて、分かりやすく説明してほしい。

若者がずっと働ける環境づくりを。

土・日や夜間の交通の便の悪さを解消できないか。

住宅や店舗づくりのために農地転用等を簡素化できないか。

迷惑駐車やゴミの問題があり、有料化して町や地域の収益にできないか。

町政に関心がないのが、議員の定数割れの原因では。

議員の活動報告等をSNSを活用するなどし、住民と議員の敷居を低くしてほしい。

子どもに知ってもらうために、各学校で出前議会などを行ってみたいかどうか。



稲川 恭子さん



小林 裕介さん



藤原 すずよさん



藤原 晃一郎さん



田中 博士さん



宮本 善郎さん



藤原 由勝さん



森本 恭平さん

大学生が議会本会議を初めて傍聴!

多様な人が活躍できる魅力ある町政を目指し、議会改革に取り組んでいます。その取組のひとつとして、神戸国際大学と連携し、12月6日の本会議を傍聴していただきました。そして、町外の若者目線で提案を受けました。提案をもとに、議会のあり方を見直し、議員のなり手不足解消につなげていくとともに、議員自身のスキルアップに努力することも踏まえ、町民の皆様が発信していきます。

議会に対して難しいイメージがあったが、実際に傍聴してみると居眠りをしたり、政党や派閥がみ合ったりすることもなく、生活に関する内容を真面目に決めていることに関心が湧いた。

町政に関心を持つために、小学校、中学校の授業に議会の傍聴を取り入れ、将来の議員の養成に役立ててみてほしいか。

現在の議員のなり手不足を解消するには、議員の兼業規定や給与体系の見直しも必要ではないか。

町民ももっと議会に関心を持つべきだと思う。



宅見 幸大さん



重見 太一さん



篠田 猛斗さん



堀田 侑吾さん



中村 智彦教授

みなさんの **声** を 町政に

一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、議会だよりに掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は5人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項	ケーブルテレビ再放送
15	栗原廣哉 議員	①自然災害に対する神河町の準備と対策	5月7日(火) 午後7:00~
16	吉岡嘉宏 議員	①JR利用小学生の通学費補助制度の創設が必要ではないか ②出生届提出の際に読む人にやさしい子育てサービス一覧表の配付を	5月7日(火) 午後8:00~
17	安部重助 議員	①第2次長期総合計画前期の進捗(成果・取組)を問う ②グラウンドゴルフ場の整備について問う	5月8日(水) 午後7:00~
18	木村秀幸 議員	①公立神崎総合病院について ②学童保育クラブについて	5月8日(水) 午後8:00~
19	小島義次 議員	①学校施設の防災対策は ②災害時における業務継続計画の実効性確保は	5月9日(木) 午後7:00~

※この日程は変更となる場合があります。

25日(火) 定例会最終日(採決)
18日(火)・19日(水) 定例会(一般質問)
14日(金) 総務文教常任委員会(付託議案)
11日(火) 定例会(提案・質疑等)
5日(水) 議会運営委員会

6月
24日(金) 民生福祉常任委員会
20日(月) 総務文教常任委員会
17日(金) 人権文化推進特別委員会

5月
15日(水) 産業建設常任委員会
1日(水) 臨時会(構成替え)

主な議会日程

本会議等の傍聴について

希望される方は、本会議当日に議場入り口の傍聴人受付票に住所、氏名等を記入し、受付箱に投函してください。なお、団体での傍聴を希望される場合は事前に事務局までご連絡をください。



栗原 廣哉 議員

自然災害に対する神河町の準備と今後の対策は



町長

ライフラインの復旧支援や受援体制の整備、孤立集落との連絡手段、物資輸送手段のマニユールの必要性を感じた



指定避難所に保管の防災備品（一部）

Q 当町の自然災害に対する準備は。

A 6か所の指定避難所、防災倉庫等にアルファ化米や飲料水、段ボールベツド等食料や生活必需品のほか、小型のポータブルバッテリーや簡易トイレ、組み立て式トイレ等を備蓄している。

また、耐震化に向けた支援として、簡易耐震診断や耐震改修補助等を行っている。

さらに、地域防災計画をはじめとした防災に関する各種計画の更新・見直しや職員による避難所運営訓練や防災図上訓練等災害を想定した訓練も実施している。

Q 当町の自然災害に対する対策は。

A 町長 大規模災害を想定した防災訓練の必要性を感じている。

今年度から町施工による河川の木や草の除去、河床整理を実施している。また、災害発生時の対応に加え、特に豪雨被害の抑止、軽減対策として、農地の保全対策や多面的機能の発揮に対する施策、災害に強い森づくり事業、



土砂崩れを防止するため、間伐材を土留めで設置しています

ひとこと

常に住民目線での活動を心がけております。

森林環境譲与税による森林整備、町単独補助事業の治山・山林出水対策事業等も実施している。



◎JR利用小学生の通学費補助制度の創設が必要ではないか
◎出生届提出時に子育てサービス一覧表の配付を



吉岡 嘉宏 議員

Q JR利用小学生の通学費補助制度の創設が必要ではないか

A JR西日本の県内赤字路線の公表の中に、播但線寺前駅から和田山駅が含まれており、町は①片道50キロ以上の通勤・通学補助制度、②特急はまかせ利用助成制度、③町内JR3駅利用による往復切符購入の助成制度を創設した。公共交通であるJR支援として十分理解できる施策であるが、JR新野駅利用の小学生の通学補助制度も創設し、町内3駅利用促進のJR支援追加策としてはどうか。

①から③の施策は、新たな播但線利用の誘客を図ることが目的のもので、廃止も含め3年間の事業としている。また、「神河町立学校通学費等の支給に関する条例」によれば、通学距離4キロ未満である新野駅利用の児童に限って改正することは難しい。

JR新野駅利用児童の通学距離は4キロ未満であり、町の条例によると徒歩通学の範囲になりま

す。JRの運賃補助をみると、他の区で通学距離が4キロにギリギリ満たない児童に対し不公平になるという町執行部の考え方は理解します。通学問題の課題解決には全域スクールバスの実

施がベストです。4月か

ら役場内でスクールバス検討委員会が立ち上がり

ます。スクールバスが実

施されれば、JR新野駅

利用の児童は運賃補助ま

たはスクールバス利用の

どちらかが可能になるは

ずですので、検討委員会

の進み具合を注視し、今

回の要望は保留にし、再

要望もあり得ると発言を

しました。



JR利用する児童の様子

Q 出生届提出時に子育てサービス一覧表の配付を

A 現在、出生届を本庁または支庁舎に保護者の方が提出された場合、窓口で「出生届が済んだら次の手続きを忘れず」というチラシが配付されている。内容は、国民健康保険の申請について記載されている。しかし、保護者の中には内容が分からないまま署名したという声がある。

Q せつかく手渡しするチラシなので、制度の概略を記載するなど内容の豊富化を図りたい。

A 行政が提供するサービスの趣旨や内容を分かりやすく説明したチラシを作成する。そのチラシにはQRコードを付け、スマートフォンからも手軽にアクセスでき、どんな手続きや行政サービスがあるのかも見られるように工夫していく。



安部 重助 議員

第2次長期総合計画前期の進捗状況を問う



町長

次世代を担う人材育成は「達成率0%」である



Q 少子化・子育て対策の推進と成果は。

A 町長 病児病後児保育の開設で、保育士と看護師の常駐体制を強化し、保護者の就労支援に繋がった。

Q 公立神崎総合病院を中心とする医療体制の充実の取組と成果は。

A 町長 兵庫県から春名副院長兼事務長を迎え院内のWi・Fi化、断らない救急医療・紹介、開業医との意見交換会などを進めて経営改善に取り組んだ。地域から信頼される病院を目指している。

Q 災害に強いまちづくり、もしもの災害に対する初動体制の取組は。

A 町長 毎年、避難所開設訓練や職員防災訓練、防災情報システムへの入力訓練のほか、各ブロックで自主防災訓練を実施し、発災時に備えている。

Q 商工業の振興と企業誘致の取組と成果は。

A 町長 創業支援の推進で新規事業者が増えており、他市町にはない充実した支援制度の成果となった。

Q 公共施設の総合管理計画の推進と成果は。

A 町長 公共施設の維持管理に多大な費用が必要となっている。地域住民の皆様を理解を得つつ、施設の方向性の議論を深めていきたい。

Q 生まれ育った人が帰りやすい、戻りたくなるまちづくりの推進と成果は。

A 町長 「2050神河将来ビジョン」を策定し、神河町のあるべき姿を示すことができたことが大きな成果であった。若者世帯への住宅取得・リフォーム補助、家賃補助のほか、事業者には分譲地開拓支援として宅地開発補助の創設で宅地整備がされたことも成果であった。

Q グラウンドゴルフ場の整備を望むが現状は。

A 町長 ひと・まち・みらい課 現状は獣害被害と芝管理ができておらず、荒れ放題の状況である。

Q 指定管理者が管理できなければ、町管理で管理運営を望むが。

A ひと・まち・みらい課 商工観光特命参事 令和6年度予算で芝の手入れ、獣害対策として乗用芝刈り機の購入とフェンスの整備を行う。町のグラウンドゴルフ場として再整備・管理をしていく。



現在のグラウンドゴルフ場 (グリーンエコー笠形)

ひとこと

“常識に頼るな”



令和2年度からの公立神崎総合病院での 主な改善、改革点は



木村 秀幸 議員

町長

病院での当たり前が、実は当たり前では
いけなかったということに気づかされた

Q 春名副院長兼事務長が県から派遣されてから4年が経過しようとしている。この間の病院での主な改善・改革点は。

A 春名副院長兼事務長

当院には「患者さん中心の医療」を展開するために、各職種が互いに尊重しながら協力し合う「チーム医療」が必要であり、これまで提案はしてきた。

主な改善点は次のとおりである。

- ① 経営改善計画推進本部等の設置、会議運営
- ② 病院改革委員会の設置、会議運営（神戸大学医学部附属病院から院長と副院長に参画していただいている）
- ③ 病院経営強化プラン、医療コンサルタントの活用
- ④ 職員の問題行動に対する注意・指導の実施
- ⑤ 県立病院看護部長経験者の採用活動
- ⑥ 令和5年12月にレスパイト入院制度改正（個室／多床室の選択

制導入・入浴の複数回体制実現)

⑦ 経費削減（年間総額約2000万円）

経費削減項目

- ・ 電力料金の基本契約の見直し(約800万円)
- ・ 不採算が顕著な非常勤医師3人との契約解除(約900万円)
- ・ 非常勤医師の病院から姫路駅間のタクシー送迎の廃止(約200万円)
- ・ 通勤手当の見直し(約100万円)
- ・ 交際費支出の適正化(約100万円)
- ・ 印刷物発注の抑制(約200万円)

学童保育クラブについて

Q 夏休み等の学校長期休業日や始業式等で学校給食の提供がない日は、保護者が弁当を作ったり子どもに持参させている。保護者の負担を減らすために何か対策を考えているか。

A 宮本社会教育特命参事

保護者からおにぎりやパンを学童側で用意していただき、利用できるシステムがあればうれしいと意見があった。給食の提供や弁当業者の利用を検討したが、食品アレルギーや提供個数の変化に



美味しいお弁当を食べる児童

ひとこと

皆の関心が必要！

対応できないことと併せて、保育業務に加えて、昼食の発注のとりまとめをする余裕が職員にないことから、学童保育クラブによる昼食提供は難しいと考えている。
しかし、コンビニエンスストアなどの弁当やおにぎり、パンを持ってくることは可能なので、保護者にお知らせしていきたい。



小島 義次 議員

学校施設の防災対策は



町長

空調設備、非常用電源の設置は必要であり、前向きに検討する

学校体育館への空調設備は導入できていないが、災害時の応援協定により、必要な場合は、大型の発電機等の支援がある。空調整備に向けて、特定財源を確保するところから検討を進めたい。

Q 当町では、6か所の避難所に夜間照明用の小型バッテリーと熱中症対策の大型扇風機を配備している。

A 防災特命参事
当町では、6か所の避難所に夜間照明用の小型バッテリーと熱中症対策の大型扇風機を配備している。

Q 小・中学校の空調整備の状況は。

A 教育課長
小・中学校の体育館は、耐震化工事を実施してきた。最大震度5前後には対応している。

Q 小・中学校の体育館で、外壁や照明器具などは震度5前後では落下しない強度になっているか。

A 実効性は確保している。大規模災害発生時に対応できない場合は、他市町や応援協定機関・団体

Q 業務継続計画の6要素(①町長不在時の代行、②代替庁舎の特定、③電気・水・食料等の確保、④災害時の多様な通信手段の確保、⑤行政データのバックアップ、⑥非常時優先業務の整理の実効性は、

災害時における業務継続計画の実効性確保は

A 住民生活課防災特命参事
業務継続計画の6要素(①町長不在時の代行、②代替庁舎の特定、③電気・水・食料等の確保、④災害時の多様な通信手段の確保、⑤行政データのバックアップ、⑥非常時優先業務の整理の実効性は、



大規模暖房機とスポットクーラー

等から人的支援、物的支援等の要請と受け入れ手順を定めた「災害時受援計画」により応援要請を行う。

Q 山崎断層の被害想定で、策定時から社会的環境が変化している。見直しの考えは。

A 住民生活課防災特命参事
平成21年に兵庫県が独自に被害想定を調査し、各市町に公開しているもので、見直しは県で被害想定が修正された場合に行う。

Q 災害の種類や時間帯、気象状況により被害は変化する。具体的な対応の検討や定期的な訓練他地域での災害発生を機に見直し、質の高い、実効性のある計画に更新していくことが必要では。

A 町長
上位計画と併せて気象の変化、人口の増減、年齢構成の変化等に対応した見直しが必要である。

当町では人員確保、資機材や物資の調達にも限界があるため、県・各市町・事業所・関係機関等と災害時の応援協定を締結し、災害受援計画を策定している。全職員への説明や避難所運営訓練、防災情報システムの図上訓練等で、戸惑うことなく災害対応業務を遂行できるようにしていく。

ひとこと

災害時に
安心できる
環境を



まちかど

インタビュー

第16回



取材日：3月8日
取材者：木村秀幸

第16回は、鍛冶区在住の藤原大地さんにお話を伺いました。

自己紹介をお願いします

神河生まれ、神河育ちの2児の父親です。幼い頃から豊かな自然のなか自由気ままに過ごし、地域の皆さんに温かく見守っていただいたおかげで成長できました。



ふじわらだいち 藤原大地さん (右側男性)

町のいいところは

1年を通して自然を味わうことができることです。春は桜華園で花見、夏はヨーデルの森やグリーンエコー笠形でレジャー、秋は砥峰高原のスキー、冬は峰山高原リゾートで雪遊び。こんなに身近に四季を感じられる名所があり、家族で自然と触れ合いながら楽しめるところは他にありません。

町に望むことは

若者が住みたいと思うまちづくりをしてほしいです。昨年、4年ぶりに秋祭りが開催されましたが、20代の若者を中心に屋台の担ぎ手が少なくなっている印象を強く感じました。若者が増えることで、

町の伝統文化を受け継ぐ担い手不足の解消と税収増加により、子育て支援など生活サービスの質が高くなると思います。

若者に住んでもらうには

若者のニーズにあう企業誘致が大切だと考えています。「豊かな自然に囲まれた立地を生かした観光振興」や「サテライトオフィスの企業誘致」により「田舎ならではの魅力的な職場」や「ライフワークバランスの整った職場」が身近な場所にできれば、若者の関心が高まるのではないのでしょうか。

若者にとって魅力的な仕事とは

私の妻は、結婚を機に神河町へ移住した際、前職がアパレル店員ということもあり、若い女性が好きような職場を求めています。

しかし、身近に理想の職場がなく、結局は町外で働いています。今は、共働きが当たり前の時代です。結婚相手が求める仕事がないことを理由に神河町での生活を断念する若者世帯も少なからずいると思います。

そこで、低家賃でテナントを貸して、事業のスタートを支援してもらえ、インキュベーション施設を新設するのはどうでしょうか。身近に理想の職場を比較的簡単につくれば、多様な働き方を求める若者にとって嬉しい事業だと思えます。

議会に望むことは

町民が町政に関心を高められるように、議会で行われていることの見える化を図ってほしいです。

あとがき



春の暖かさを超える気温は、今年もまた暑い日々がやってくる予感がします。ここ数年間、自然や社会の変化の振れが大きく、暮らしが便利になる一方、政策課題も多くなってきました。町民の皆様からの声も多岐にわたり、議会としてもその声をどう町政に反映させるかが問われます。議会改革を進めながら皆様の声の代弁者としてお役に立つ姿勢を保ち、身近なところから変化に対応していきたいと思えます。

この議会だよりも、改善を進め、より多くの皆様に見ていただけるよう尽力してまいります。

(小島 義次)



広報公聴活動調査特別委員会
委員長 藤原 資広
副委員長 木村 秀幸
委員 小島 義次
澤田 俊一
松岡 宣彦
栗原 廣哉